

2021年5月10日

会 員 各 位

公益社団法人 奈良県理学療法士協会
選挙管理委員会
委員長 和田 祥武

役員選挙に関する公報

謹啓、時下益々ご活躍のこととお喜び申し上げます。
さて、役員選挙に関して下記のとおりお知らせいたします。
この選挙公報は、候補者から登録された内容をそのまま掲載したものです。

謹白

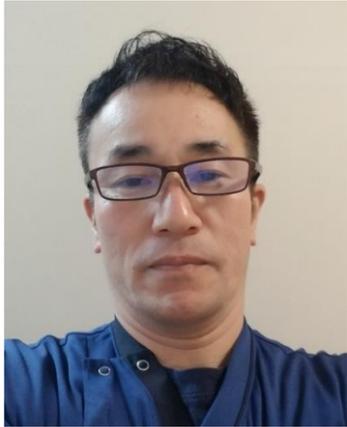
記

- 1、 立候補者
立候補者名は別紙資料の名簿をご参照ください。
理事候補：8名（定数 8名以上10名以内）
監事候補：3名（定数 3名以内）
- 2、 立候補者のプロフィールおよび趣旨
別紙資料をご覧ください。
- 3、 当選者の確定について
理事、監事いずれも定数以内ですので、選挙規程7の7)に基づき
無投票当選になります。
今年度の定期総会において承認されれば確定いたします。

以上

奈良県理学療法士協会役員立候補者名簿(1)

西田 宗幹 (52歳) 医療法人鴻池会 秋津鴻池病院
 「立候補役職名」 理事
 「士会役員歴」
 平成19年～ 理事
 平成27年～ 副会長・社会局長



〔立候補の趣旨〕
 8期目の理事に立候補しました西田宗幹です。平成27年からは副会長、社会局長として様々な活動に携わらせていただきました。2025年問題に対し、地域包括ケアシステム構築に重要な介護予防事業は今や当たり前となり、さらには保健事業との一体的提供に向け、理学療法士を含むリハ3職種の活躍が期待されており、我々はその事をしっかりと理解すべきであります。その期待に応えられる知識・技術の向上、他職種との連携など協会の皆様方への支援を自分なりに行ってまいりました。また、昨年は新型コロナウイルスの感染拡大により、多くの事業が変更を余儀なくされましたが、皆さんの協力もあり「新しい形」で実施ができたものもあり、新しい視点を知る機会にもなりました。まだまだ、安心はできませんがこれに負けず、新しい時代に必要な理学療法士になるために皆様と今後も頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

松村 明子(52歳) 医療法人康仁会 ロイヤルフェニックス
 「立候補役職名」 理事
 「士会役員歴」
 平成15年～平成16年 厚生部長
 平成17年～現在 理事
 平成21年～現在 広報局長



〔立候補の趣旨〕
 介護老人保健施設ロイヤルフェニックスの松村明子です。9期目の理事の立候補をさせていただきます。
 昨年はコロナ禍による活動制限もあり、研修会・学会・士会活動などの事業が行えない状況でした。これからも感染症予防を確保したうえでの事業展開となると思いますが、理学療法士としての繋がりも含め、患者さん・利用者さんに不利とならないような関わりが意識できるような発信が出来ればと思います。微力ではありますが、頑張りますのでよろしくお願いいたします。

平成21年 6月 第19回奈良県理学療法士学会 学会長
 平成24年11月 第52回近畿理学療法学会 事務局長
 平成31年 1月 第58回近畿理学療法学会 事務局長

増田 崇 (49歳) 奈良県総合医療センター
 「立候補役職名」 理事
 「士会役員歴」
 理事 2003年度～ 9期18年
 事務局長 2005年度～ 2018年 7期14年
 副会長 2009年～ 2018年 5期10年
 会長 2019年～ 2020年 1期2年



〔立候補の趣旨〕
 10期目の理事立候補となります。これまで、平成17年から平成31年まで7期14年間事務局長、平成21年度からの5期10年は副会長として、令和元年度からは会長として会務に携わらせていただきました。
 これまでの役員任期中に会員を取り巻く情勢は大きく変化し、その変化に合わせて会の運営をしていくことに翻弄されていたように感じています。特に会長をさせていただいた直近1年間は新型コロナウイルス感染症が蔓延し、士会事業をおよそ半年にわたり実施できない状況となりました。そのため事業形態も大きくその開催形式を変えなければならない状況となっております。
 まだまだコロナ禍は続いており、多くの制限がある中での会務の運営となりますが、理学療法を通じて県民の保健・医療・福祉の増進に寄与できるよう引き続き会務に携わらせていただければと思います。

河村 隆史 (47) リハビリ あ・える田原本
 「立候補役職名」 理事
 「士会役員歴」
 学術局 研修部部長 H23年～H25年
 理事 平成31年～ 令和2年



〔立候補の趣旨〕
 私は理事として、令和元年～2年の1期2年間、広報局に携わらせていただきました。この2年間でホームページの刷新など、会員の皆様に有効な情報提供を行うべく動き出したところです。新型コロナウイルスにより、研修会等で集まることも困難となった今、より正確で有効な情報を、素早く会員の皆様に提供できるシステムの構築が 大切です。1,500 人を超える大きな組織となった奈良県理学療法士協会にとって、充実した情報提供システムは非常に重要な課題だと考えます。そういった部分に尽力したいと考えております。
 また、在宅に携わる理学療法士として、地域社会における理学療法士の存在は非常に重要であると考えます。その活躍の場をより一層広げるとともに認識してもらい、充実させていきたいと考えております。そのためにも、甚だ微力ではございますが、会員の皆様のご協力、ご支援を賜りながら、さらに奈良県理学療法士協会の発展に貢献できるよう 努力してまいります。何卒よろしく

和田 善行 (40歳) 社会医療法人 平成記念会 平成記念病院
 「立候補役職名」 理事
 「士会役員歴」
 2013年～ 2018年 新人研修委員長
 2017年～ 現在 理事
 2019年～ 事務局長



〔立候補の趣旨〕
 3期目の理事立候補させていただきます。これまで、平成21年から新人研修委員会、平成31年から事務局長として、新人教育の支援や協会運営に携わってきました。2022年より新生涯学習制度、次期会員管理・演題管理システムへの移行となり現在準備を進めています。社会が理学療法士や奈良県理学療法士協会に対する期待は大きくなってきています。その期待に答えるため理学療法士の質の向上と更なる会員間、他職種団体、養成校、行政等の連携強化が必要となってきます。これまでの経験を生かし微力ではありますが、会員の皆様、県民の皆様にも少しでも貢献できるように頑張りたいと思っております。会員の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

中村 貴信 (54歳) ウェルケア悠
 「立候補役職名」 理事
 「士会役員歴」
 平成19年～平成22年 社会局 介護保険部長
 平成23年～ 理事



〔立候補の趣旨〕
 これまで県下の地域包括ケアシステムの構築に奈良県理学療法士協会の一員として携わってまいりました。
 昨年度は「コロナ禍」の影響により、地域での介護予防活動が低迷した時期でした。
 しかし、地域に根差した理学療法士の地道な活動は脈々と進められており、県や市町村からの要望や期待は変わらないものと様々な活動を通じて感じています。
 令和3年度は介護保険報酬改正と共に、奈良県では「高齢者福祉計画及び第8期奈良県介護保険事業支援計画」が策定されました。その策定委員会にリハビリテーション専門職が初めて委員の選出を要望され、委員として参加させて頂くことができました。
 これは、地域リハビリテーションに対する我々への期待と責任への表れと感じており、理事としての重責をこれからも全うさせて頂きたいとの思いを強く持って

奈良県理学療法士協会役員立候補者名簿(2)

田平 一行 (53歳) 畿央大学



「立候補役職名」 理事
「士会役員歴」
理事(H21.5～現在)
学術局長(H27.5～現在)
副会長(R1.5～現在)

〔立候補の趣旨〕

現在日本理学療法士協会は、理学療法士の質の維持と向上のために生涯学習や分科学会など、専門理学療法士制度の改革を進めています。コロナ禍のために遅れましたが生涯学習制度は令和4年度から大きく変わります。また、分科学会は令和3年度中に法人化される予定です。

私は平成16年に本会に入会した後、17年から新人教育委員会、20年から専門領域委員会に関わり、21年から理事、27年から学術局長を務めています。また日本理学療法士協会では、平成22年より認定理学療法士の必須研修会の講師を、26年及び29年から日本呼吸理学療法学会運営幹事を務めています。

このように、私はこれまで専門・認定理学療法士制度に関する教育や学術面で会員の皆様に関わってきました。これらの経験を活かし、理事としても引き続き本会のお役に立てればと考えております。会員の皆様のご支援を、宜しくお願い申し上げます。

北村 哲郎 (51歳) 奈良県立医科大学附属病院



「立候補役職名」 理事
「士会役員歴」
理事 2015年度～2020年度

〔立候補の趣旨〕

私は2021年度で理学療法士経験年数が28年目となります。急性期病院とリハビリテーションセンターでの7年間の臨床経験、理学療法士養成校において12年間の教育経験、そして奈良県立医科大学附属病院において管理運営の経験を積ませていただいて9年目となります。今まで、自らの成長を信じ様々なことにチャレンジしてきました。たくさん失敗しましたが、周りの方々に助けをもらい何とか乗り越えてきました。これらの経験を通して、理学療法士のできることは何か、しなければならないことは何か、してはいけないことは何なのかといった原理原則の大切さを知りました。それこそが社会からの信頼につながるものと考えます。また原理原則だけでなく「変化」も実は重要であることも経験しました。社会からの期待に応え、なおかつ進化していける理学療法士の職能団体としての活動について、微力ながら貢献できればと考えています。

箕輪希予志(57) 健生会 土庫病院



「立候補役職名」 監事

推薦者
門脇 明仁 平和会 吉田病院
木本 晴美 おかたに病院
中俣 悦雄 済生会 御所病院
下出 好夫 ソフィアメディ 株式会社

私は行岡医学技術専門学校を卒業し、吉本整形外科・外科病院に入職したのは21歳でした。そして奈良県理学療法士協会に入会しました。その当時は、会員数が10名だったと記憶しています。少ない人数で皆が何らかの役割をもっていました。その後、三重士会に異動し約15年後に奈良士会に戻ってきた時には、優秀な方々が士会役員を務めておられ安心しました。定年退職を意識するようになり、今まで勤務先の体制作りや発展ばかり考え、振り返ると、お世話になった奈良士会に何も協力できていないことに気づきました。一般の奈良士会会員や奈良県民の目線で、奈良士会の運営に意見できればと考え、また推薦してくださった先生方のためにも監事に立候補することとしました。

江村修二(55才) 社会医療法人 高清会 高井病院



「立候補役職名」 監事
「士会役員歴」
平成11年～平成16年 3期(6年間) 理事
平成16年 第14回奈良県理学療法士学会 学会長
平成19年～平成31年 6期(12年間) 医療保険部長
平成31年～現在 1期(2年) 監事

〔立候補の趣旨〕

この度、監事に立候補させて頂きました江村です。12年間、医療保険部長として医療における理学療法士の役割を考えてきました。その経験を活かし医療だけでなく予防や介護そして地域社会など、理学療法士が果たすべき社会環境課題に本協会が取り組めるように監事としてお手伝いしたいと思い2年前に立候補させていただきました。

この2年間は監事として本協会活動に関わってきましたが、コロナ禍において今後は医療や介護保険制度そして地域連携などの質の向上と効率化が一層求められ、理学療法士にも、これまで以上に「現場力」が求められます。本協会の会員が、多職種と連携を図りながら地域のニーズに応えることができるように、監事として協力していきたいと思い2期目の立候補をさせていただきました。よろしくお願いたします。

堀 義範 (44歳) 有限会社ナーク 訪問看護ステーション かしの木



「立候補役職名」 理事
「士会役員歴」
介護保険部 部長(平成28年度～平成30年)
理事(令和元年度～現在)

〔立候補の趣旨〕

この度、2期目の理事に立候補させて頂きました堀 義範です。私は令和元年度より社会局担当理事として、市町村での介護予防事業や地域ケア会議の参画など、行政等と本会及び会員が協働するため主に活動して参りました。地域包括ケアシステムの展開など、急速な社会情勢の変化により、地域が求める理学療法士像は刻々と変化しています。そのような変化の中で、我々理学療法士は様々な分野での活躍が期待され、成果も求められています。変化に柔軟に対応し、期待に応える為に会員間は勿論、本会と関係諸機関との更なる連携の強化も必要と感じています。

これまで会員の皆様のご理解とご協力を賜りながら本会活動に務めて参りました。まだまだ未熟ではありますが、私自身がこれまで培ってきた繋がりや経験を活かし、引き続き本会の運営に尽力・貢献したいと考えております。